

平成 28 年度 第 1 回白馬高校学校運営協議会 議事録（概要）

1. 日 時 平成 28 年（2016 年）6 月 2 日（木）午前 10 時～12 時

2. 場 所 長野県白馬高等学校会議室

3. 参加者 8 名（欠席 2 名：松本委員、横川委員）

この他、長野県教育委員事務局高校教育課 3 名

白馬・小谷両村関係者 3 名

白馬高等学校職員 3 名



4. 次 第

(1) 開会の言葉

(2) 委嘱（任命）通知書手交

(3) 長野県教育委員会挨拶（今井高校教育課長）

(4) 白馬高等学校長挨拶

(5) 委員自己紹介

(6) 学校運営協議会概要説明（藤井高校改革推進係長）

(7) 会長・副会長の選任

○会長：白戸 洋 委員 ○副会長：武田彰代 委員

(8) 報告事項

・学校の現状報告（北村校長）

(9) 授業見学

・国際観光科（総合英語） ・3年選択授業（情報）

(10) 審議事項

①平成 28 年度白馬高等学校の学校経営計画について（北村校長）

・学校経営方針

・コミュニティ・スクールの基本構想

・組織編成

・地域支援関係予算

⇒ 平成 28 年度白馬高等学校学校運営計画を承認

(11) 意見交換

<岸委員>

○事前に資料を送付してもらえると意見が出しやすいので、次回からはお願いしたい。

○この学校運営協議会に何を求めているのか、具体的に何を議論してほしいのかを明確にしてほしい。

○寮や下宿の様子がどうなっているのか非常に興味があるので、見学の機会を設けてほしい。

○全生徒が白馬高生として誇りを持って卒業、進学できるようにしてほしい。

○今後は生徒との意見交換の場を是非設けてほしい。

<藤井係長>

○資料の事前送付については、次回是对応していきたい。

<奥原委員>

○地元中学校から半数以上が白馬高校に進学している状況の中、中学校に協力を求めたい内容を示してほしい。

<下川委員>

○今年度は県外生が13名入学したが、この状況だと3年後には約40名が寮や下宿で生活することになり、今の施設では収容が困難となる。寮については、県・高校とも連携しながら検討していきたいので、県も協力をしてほしい。

<横沢委員>

○寮生や下宿生の週末や休日の過ごし方が心配である。学校でも考えてほしい。

<武田委員>

○美麻中学校でもコミュニティ・スクールを導入し、例えば遠足などの行事に地域住民に同行してもらおう取組（「学校支援隊」）があるが、このように地域の中でも白馬高校学校に協力していきたい。

○県外生の生活をサポートする方法を学校運営協議会でも考えていければよい。

○口コミで、白馬高校は良い学校だということをアピールしていきたい。

<宮嶋委員>

○白馬高校は小規模な学校だが、多くのクラブや委員会が活動しており驚いている。小谷中学校ではクラブが少なく活動が限られているので、白馬高校の様子を話して生徒たちに希望を持たせたい。

○スキー以外のクラブ活動等にも村から支援をしてもらいたい。

<白戸会長>

○「国際」で一番求められるものは、自分の地元の地域がきちんとしているかどうかである。アイデンティティがない人間は海外では相手にされない。白馬高校の教育方針であるグローバルな人材育成を実現してほしい。

○地域と学校では流れている時間が違うので、連携は悪戦苦闘の連続である。地域と学校がwin-winの関係を構築し、維持できるように、この学校運営協議会が橋渡しの役割を果たしていきたい。

(12) その他

○第2回学校運営協議会は7月20日（水）10:00～12:00を予定

(13) 閉式の言葉